

ぎょうむそくほう 【ダイジェスト】

No.699

2025年12月16日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

業務委員会を開催

総支部総対話で寄せられた意見に基づき議論

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

12月16日、申第8号「全職場総対話行動で寄せられた各総支部組合員の提言」に基づき業務委員会を開催し、本社部門、名古屋セントラル病院、健康管理センターにおけるこの間の継続課題をはじめ、職場の実態に即した改善要望等について、東京総支部、名古屋総支部、病院総支部の各執行委員長も参画のもと、詳細にわたって議論を展開した。

議論では、出張時の宿泊料限度額の引き上げや、出張時経路の柔軟化、ブリージャー制度の導入などを求め、特に中央新幹線建設工事については、適正な人員配置や決裁権限の委譲、心理的安全性の向上、山間地区に勤務する組合員への更なる支援拡大等について強く主張した。結果、本社部門では、品川ビルにおいて会議室・打合せスペースが拡充されたことや国の非課税限度額の引き上げを受け、自転車等の通勤手当の見直しを検討していることを確認した。また、中央新幹線推進本部の対話会については、若手対象や系統を横断する形式での開催を検討していることが明らかになった。

病院関係では、医療職組合員のキャリア形成支援や要員不足、医療DX、ペイシェントハラスメントへの対応、健康診断の勤務化・常設化などを強く主張した。

JR東海ユニオンは、総支部に所属する組合員から寄せられた各種課題の改善に向け、引き続き広範な議論を展開していく。

・今年度開業したコートヤード・バイマリオット京都四条烏丸をJR東海社員出張プランに新たに追加されたことを確認。

【主な議論内容】（黄色部分は、現時点において前進を確認した事項）

・国の非課税限度額を上げる政令が公布されたことを踏まえ、自転車等通勤手当の見直しを検討していくことを確認。

○共通事項 出張時の取扱い（宿泊箇所、柔軟な出張（ブリージャー制度））

○東京・名古屋総支部関連

・経理業務規程改正を踏まえ、代理契約責任者の手続きに関する決裁権限の金額範囲の引上げ等の見直しを実施することを確認。

対話会では適時開示を踏まえた丁寧な説明を行っていることや、若手対象や系統を横断する形式での開催を予定していることを確認。

- ・中央新幹線関係（適切な人員配置、決算権限の委譲、山間地区勤務者への更なる支援、樺島での特手手当の改善、モチベーション・心理的安全性の向上）
- ・本社部門関係（オフィスリニューアル、会議室・打合せスペース等の拡充、効率的な業務遂行体制の構築）

・品川ビルA棟で打合せスペースを8ブース、会議室1部屋が共用開始されたことを確認。

○病院総支部関連

- ・病院関係（医療職社員のキャリアプラン、慢性的な要員不足・医療DX、ペイシェントハラスメント防止、勤怠管理、手術室等医療職の勤務環境、中央放射線室での宿直・日直の取り扱い）
- ・健管セ関係（保健長の配置、健康診断の勤務化・常設化、特定保健指導の環境改善、各種健康管理システムの改善）

・入院時の説明動画でJRグループカスハラに対する基本方針の内容を反映し2026年1月から運用開始することを確認。

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。